


思春期とは、個人差がありますが、おおむね10歳から18歳までを言います。

この時期には、こころやからだは急激に変化します。子どもは、この変化に不安や戸惑いを感じ、様々な悩みを抱え、こころが不安定になりがちです。不登校やひきこもり、家庭内暴力、自傷行為などの不適応的な行動や摂食障害、強迫性障害、心身症、うつ病などの精神症状が現れやすい時期でもあります。

また、思春期は、親からの独立心が強くなる時期でもあります。これまで素直に親の言うことを聞いたり何でも話していた子どもが、この時期になると、親と距離を置くようになったり、親に反抗的になります。親は、この変化に戸惑い、どんなふうに接したらよいのかと悩むことが多いのではないのでしょうか。

このような時は、家族だけで問題を抱え込まずにご相談ください。本人が相談に行くことに抵抗を示す場合は、無理強いせず、まずは、ご家族だけでもご相談ください。



こんな時は、ご相談ください

親の場合



学校に行かない

最近様子が
おかしい

どんなふうに
接したら
いいかわからない

ずっと
イライラする

死にたい
消えたい

やる気が
起きない

人づきあいが
面倒

子どもの場合

